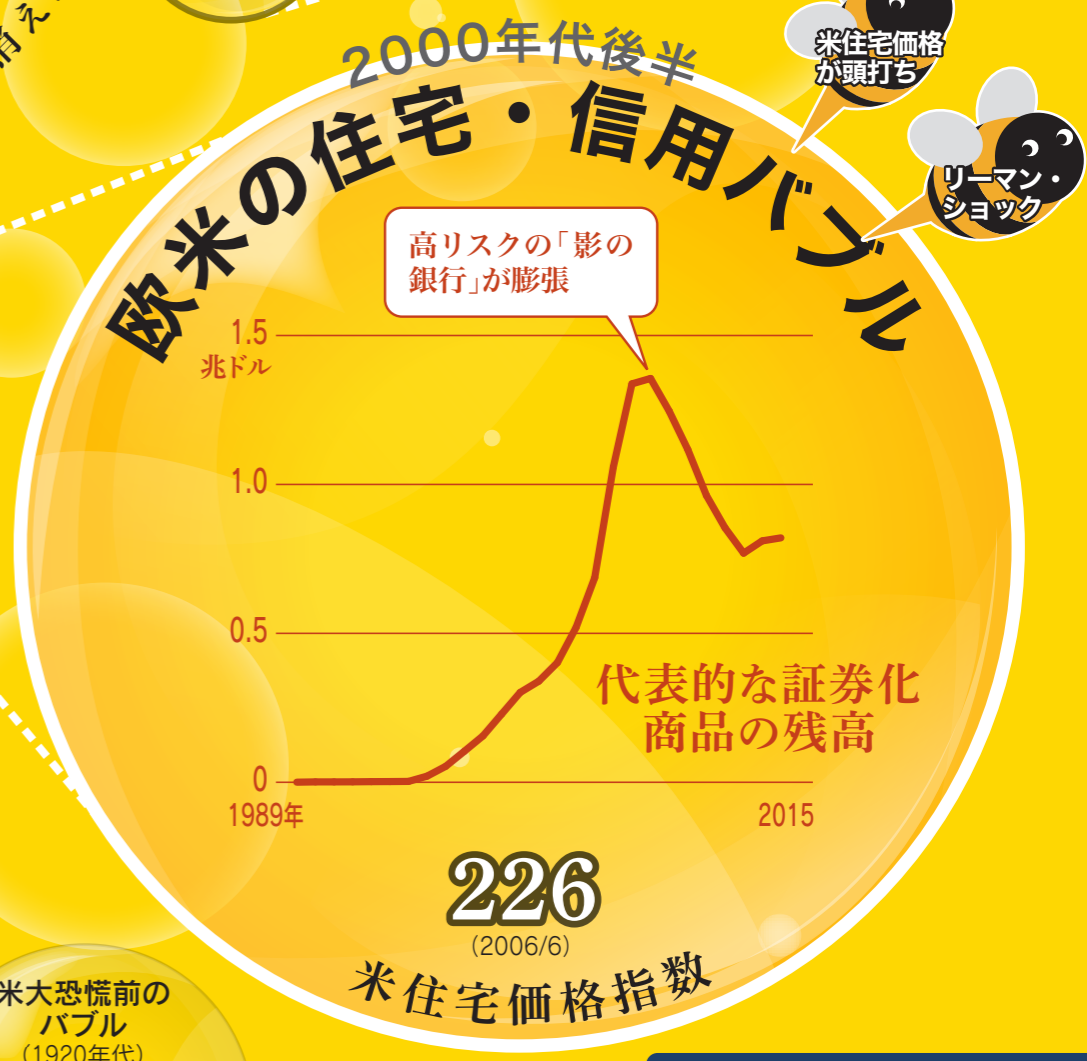
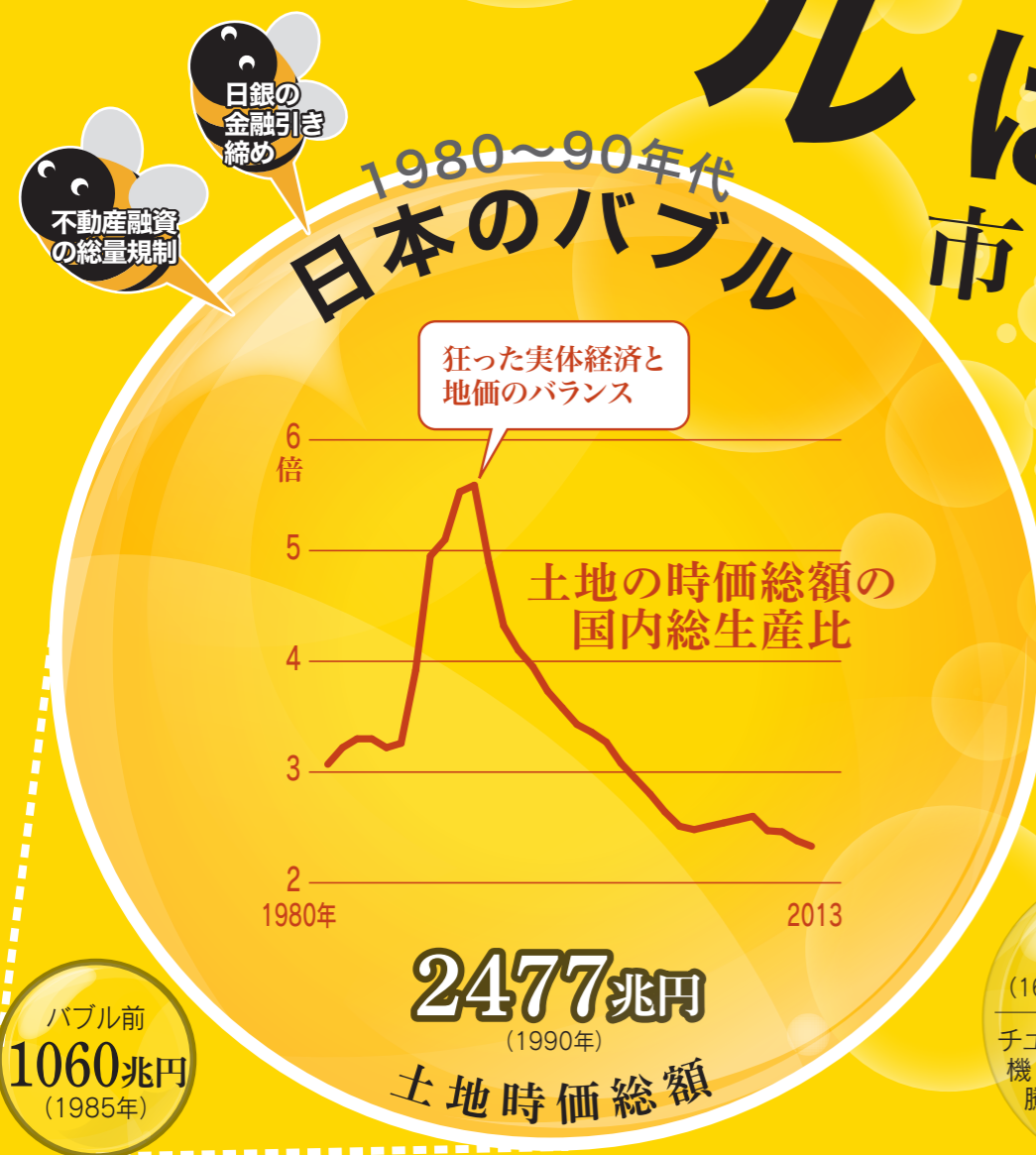


金融の歴史はバブルの歴史でもある。陶酔感や人の目を曇らせ、強気相場が永遠に続くような錯覚を引き起こす。だが、目をこらせば、そこにはいつも「何かおかしい」と思わせる異変が起きている。異常値を察知するには、懐疑心を保ち、歴史に学ぶしかない。

バブル前
2.5兆ドル
(1998年末)



バブル前
15兆元
(2014/5)



バブルは繰り返す

市場と大衆の陶酔感消えぬ限り



過去のバブル

チューリップ・バブル (1633~37年、オランダ)
チューリップの球根が投機の対象になって高騰。先物取引まで行われた

南海泡沫 (ほうまつ) 事件 (1720年、英国)
英国南海会社の株価急騰で投機が過熱。バブルの語源になった

米大恐慌前のバブル (1920年代)
第1次大戦後の好況下で米国の土地や株式が高騰。1929年10月に起きた暴落が大恐慌の引き金に

電子版で「もっと発見！」

バブルの風景 「異変」はこうして起きた

Web刊 → 特集 → ビジュアルデータ

証券口座新規開設数 **38倍** 証券

中国株 バブル

日本の土地時価総額は内閣府「国民経済計算」を基に作成。株価収益率は株価を一株当たり利益で割った値、ニッセイ基礎研究所調べ。米住宅価格はケース・シラー住宅価格指数、出所はS & Pダウ・ジョーンズ・インデックス。証券化商品は債務担保証券(CDO)の残高、BNPパリバ証券調べ、CDOは複数の債権や信用デリバティブを1つに再構成した複雑な金融商品